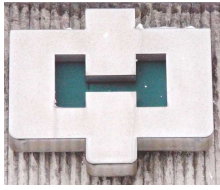


教育目標 「 豊かな心で たくましく 自分の人生を切り拓く 生徒 」

重点目標 「 豊かな心 確かな学力 健やかな身体 」



あ さ ひ こ
朝 日 子

佐渡市立畑野中学校 学校だより

平成31年1月10日(木) 第17号

著・編 校長 宇治 正明 (TEL 66-2058)

新年あけましておめでとうございます

いよいよ2019年が始まりました。今年の干支は「いのしし」。十二支の中で最後の年です。十二支の順番は競走してゴールした動物の順になっているというのが定番です。いのししは猪突猛進というイメージのとおり、100m走るのに10秒かからないそうですから、最後になったのには何か理由があったのでしょうか。また、お正月のテレビを見ていたら、いのししを干支に使っているのは日本くらいで、他の国ではいのししではなく豚なのだそうです。ちなみに、豚もいのしし並みに速く走ることができるようです。このように日頃気にしていないことも調べてみると面白いことがたくさんありそうです。なにはともあれ、目標に向かって突き進む年にしていきたいものだと思います。

さて、始業式で、次のような話をしました。

「今年一年を漢字で表す行事が年末にあります。見方を変えて、今年一年をどんな年にしたいかを漢字で表すというのもいいのではないかと思います。私はいろいろあるのですが、その内のひとつを紹介いたします。それは「笑」です。笑うことは心にも身体にもとてもよいと言われています。特におかしくなくても、無理して笑っても効果があるそうです。是非やってみてください。私も含め、皆さんが『笑い』いっぱいになるといいなあと思います。」



その後、教室をまわっていたら、今年の漢字を書いて掲示してあるではありませんか。どんな漢字が書かれていたのか、以下紹介します。

「学」「金」「超」「新」「良」「勝」「準」「友」「粘」「事」「強」「努」
「伸」「挑」「笑」「咲」「勉」「雅」「力」「一」「向」「言」「頑」「知」
「増」「備」「蓄」「進」「合」「楽」「極」「続」「仲」「場」「自」「全」
「健」「福」「受」

この漢字を選んだ理由も書かれており、生徒たちの今年にかける思いを知ることができました。なるほどと感心するものもたくさんありました。

心を新たに2019年を迎えた生徒。今年も活躍が期待できそうです。

保護者の皆様、地域の皆様、当校に関わってくださっているたくさんの皆様、今年もよろしくお願ひ申し上げます。



生徒会の取組 リスペクト・アザーズ

2学期の終業式に先立って、生徒会新会長：加賀さん、新副会長：新井さん、長嶋さん、新応援団長：畠野さんに認証書を渡しました。議長、副議長、会計、各専門委員長についても現在、選出が行われているところです。これまでの先輩の積み重ねを引き継ぎ、公約で訴えた学校生活の実現に向けて頑張ってくれることを今から期待しています。



さて、これまで生徒会は、
Respect Others（リスペクト・アザーズ：他人を敬う）
Respect Myself（リスペクト・マイセルフ：自分に自信をもつ）
Respect Hatano（リスペクト・ハタノ：地域に貢献する）

を重点に活動をしてきています。この活動は自己肯定感を高めることに通じると私は考えています。全国学力・学習状況調査結果によれば、「自分には、よいところがあると思いますか」という質問に対する畑野中学校の肯定的な回答は82.3%（全国は78.9%）となっています。生徒会のこれまでの取組もこの成果に関わっていると見ています。

ところで、「自己肯定感、持っていますか？」（水島広子著 大和出版）では、他人をリスペクトする（ありのままの相手に敬意をもつ、尊重する）ことが自己肯定感を高めることにつながると述べています。生徒会の取組にも通じるところがありそうです。この本によれば、他人をリスペクトすることは、次の5つを大切にすることだと述べています。以下（ ）内に私のコメントをつけてみました。

1 決めつけない

（ある一面だけを見て、「～さんは・・・な人だ」と決めつけることは、それがよい内容であれ、そうでない内容であれ、正しくその人を評価していないということ。安易に決めつけてはいけません。）

2 決めつける前に相手の話を聴く

（相手のことを知るには本人から話を聴くのがいちばん。話を聴くことで、勝手に決めつけることはしなくなる。）

3 今はこれでよい、人が変わるのにはタイミングがあると考え

（自分を変えるのさえ大変なのに、人を変えさせるなんて至難の技。相手のことを理解して、そっと支えるのがよい。）

4 主語を「私」にして伝える

（会話、特に日本語では、主語がはっきりしていないことが多い。「私が」こう思っていると言うことで、相手のとらえ方も変わってくる。「みんなが～と言っているよ」と言われるより「私は～と思っているよ」と言われた方が確かにうれしい。）

5 自分が下した評価は一時的で主観的であると考え

（その時はそう思ったかもしれないが、それが相手の本来の姿とは限らず、自分勝手な思い込みかもしれない。）

まとめると、リスペクト・アザーズをするには、「相手のことを勝手に決めつけず、相手の話をよく聴いて理解し、『私』のメッセージをきちんと伝える」ということになるでしょうか。これは生徒だけでなく、私たち大人にも大切なことを教えてくれているように思います。